

企業と福祉の協働による

知的障がい者の就業定着への挑戦

～「キヤノンウィンドモデル」の実践を通して～

丹羽 信誠（社会福祉法人暁雲福社会「八風・be」施設長）

小林 浩（大分キヤノン株式会社）

キヤノンウィンド株式会社

2008年に合併会社として設立・操業

企業



大分キヤノン株式会社

×

社会福祉法人



暁雲福祉会

※大分キヤノン株式会社の特例子会社として認定

キヤノンウィンド設立の経緯

＜お互いの理念/目的の合致＞

大分キヤノン

企業理念：共生

障がい者法定雇用率の達成を目指したい！

暁雲福祉会

法人理念：人間礼拝

知的障がい者の一般就労とその就業定着を高めたい！

キヤノンウィンドでしているお仕事は・・・ キヤノンのミラーレスカメラの生産



BRAND NEW SIX.



世界は新たな
映像表現の可能性と出会う。

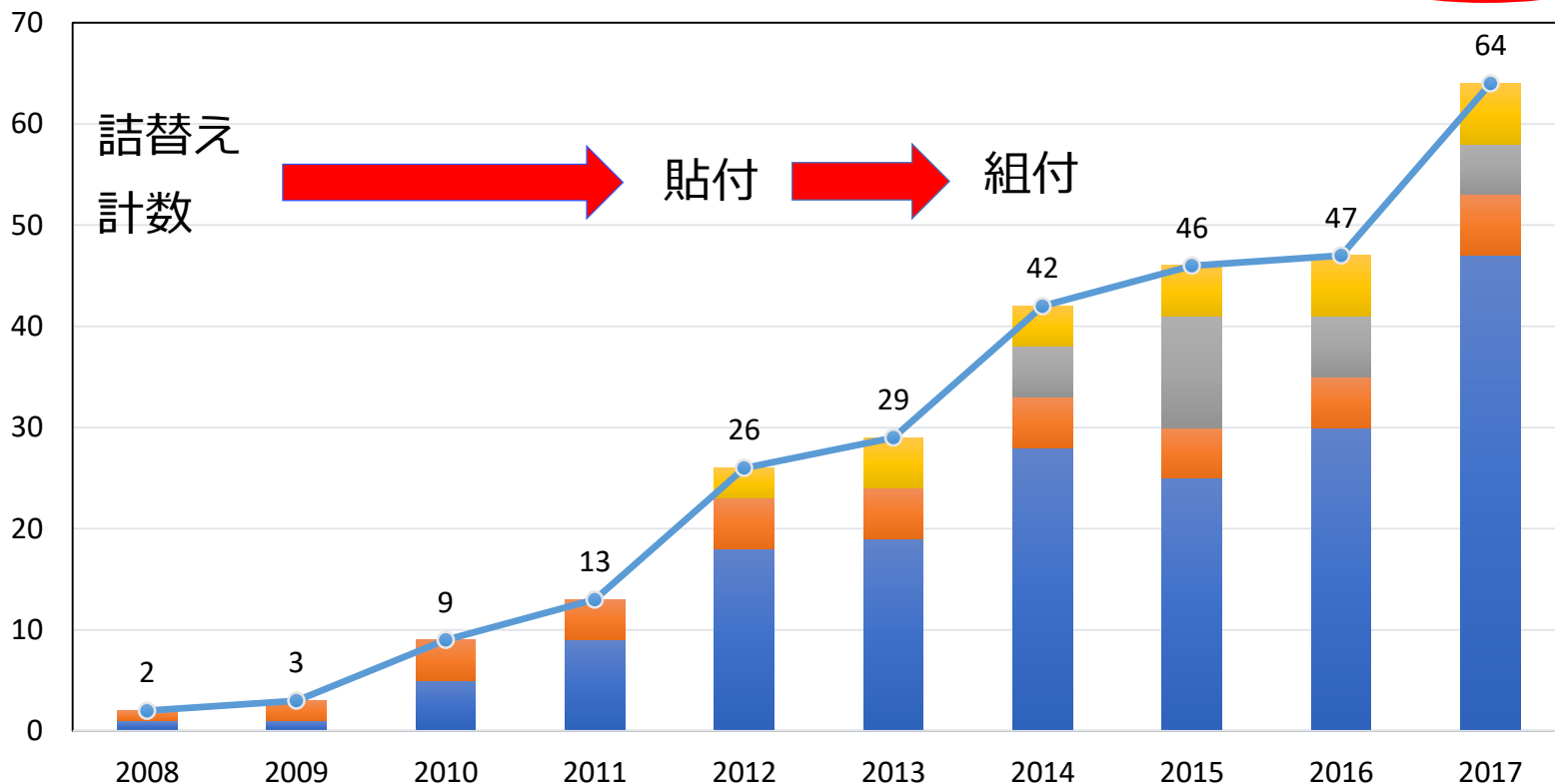
トラッキング フルサイズ
EOS R6 Mark II

キヤノンウィンドの職域拡大

カテゴリー別作業種類（数）

最大 **64** 種類

詰替 計数 組付 貼付 合計作業種類



障害者権利条約（第2条）

「reasonable accommodation」 ＝ 「合理的配慮」

非常に個別性の高い環境調整による平等の確保のことを合理的配慮という。例示すれば、雇用における「特別の措置」である割当雇用制度や保護雇用制度によって就職した人に対して、仕事を継続するために障がいの状態に応じて講じられるべき個別の支援を指す。障害がある人が障害のない人と対等平等に仕事ができるような物的、人的環境を整備する義務が、職場であれば事業主に課せられる。

引用：鈴木勉・田中智子(編) 2011年「新版 現代障害者福祉論」 高菅出版、63頁

合理的配慮に基づく働きやすい労働環境の整備

項目	内 容	補 足
通勤バス	専用の通勤バスにより送迎	暁雲福社会へ集合し、検温等の体調管理を行い、一緒に出勤
勤務場所	バス発着場所、食堂、トイレ等、日常利用するところが、どれも近い場所に職場を設けた	障がい者の負担にならないように配慮 常に福祉専門職の目に届く範囲で行動できる
更衣室	社内に広い更衣室を設置	障がい特性により、一人当たりのスペースを広く取る必要がある
福祉職員	5名の障がい者に対し、1名の福祉専門職員を配置	作業支援と生活支援を専任でトータルサポートを行うため



キヤノンウィンド株式会社は**設立16周年**を迎えます！

2023年4月施行の法定雇用率2.5%→大分キヤノン**3.24%**を達成中

※内キヤノンウィンドで**1.5%**

企業と社会福祉法人が専門性を発揮し、連携!!

着実に職域の拡大

- ・障がい特性に配慮した仕事の創出
- ・生産計画
- ・生産管理
- ・治具制作

合理的配慮の徹底

- ・福祉専門職の配置
- ・障がい特性に応じた教育の実施
- ・作業定着化
- ・生活面のサポート

キヤノンウィンド

大分キヤノン

暁雲福祉会

企業と福祉の協働